

平成29年度 指定管理業務 評価票

山田池公園	【指定管理者】 ハートフル山田池	【指定期間】 平成25年4月1日 ～ 平成30年3月31日	【所管課】 枚方土木事務所 都市みどり課
-------	---------------------	-------------------------------------	-------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【山田池公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
I 提案の履行状況に関する項目						
(1) 施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○管理事務所及びパークセンターは、公園のインフォメーション機能として、ボランティアや公園利用者が気軽に立ち寄り、情報を得られるように努めた。 ○9月4日～6日には、パークセンター内展示ホールにて、初の試みとなる「花のくらぶ手作り作品展」を実施した。 ○実りの里で年間を通じて農作業体験イベントを行い、環境への理解を深める機会を提供した。 ○5月13日にトヨタ自動車(株)ならびに(株)産経新聞大阪本社と連携開催した「AQUA SOCIAL FES!!」において玉ネギの収穫体験を実施した。 ○7月18日にひらコン実行委員会と連携開催した「ひらコンBBQ大会」において夏野菜の収穫体験を実施した。 ○駐車場を始めとする各施設は、清潔で気持ち良く利用していただけるよう努めた。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○管理事務所及びパークセンターを気軽に立ち寄り情報を得られる場所として、実りの里を様々な世代の農作業体験の場として活用するなど、提案内容を計画的に実施できた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。</p> <p>○公園施設の快適な利用の確保をはじめ、パークセンター等のインフォメーション機能の充実、「実りの里」イベントの活用など、公園管理の基本的考え方に沿って管理運営を実施。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>パークセンター等のインフォメーション機能の充実、「実りの里」イベントの活用など、公園管理の基本的考え方に沿って管理運営されており、評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「大阪府都市公園条例」や「府営公園管理要領」などに基づき、平等・公平に受付業務や利用指導を行った。 ○公園の利用ルールなどを纏めた「受付対応マニュアル」や「巡視マニュアル」をスタッフが十分理解し、不公平な対応がないよう徹底した。 ○「山田池公園だより」や各種チラシの配布、園内掲示板、園内放送、ホームページ、SNSなどで情報発信を行った。 ○エフエムひらかた、枚方つーしん、枚方経済新聞、各新聞社やミニコミ紙、子育て情報紙、京阪電鉄の情報紙、JRの情報紙、枚方市の広報紙など、外部の情報媒体に積極的に情報提供を行った。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平等・公平に受付業務や利用指導を行うことができた。 ○外部の情報媒体との連携を図り、公園の魅力や取り組みについて広くPRすることができた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。</p> <p>○関係法令やそれらに基づく公園利用上のルールに則った、公平な受付業務や利用指導を行い、公共施設としてあるべき平等利用に努めた。</p> <p>○外部機関も含めた各種広報媒体を通じた積極的な情報発信を行い、公園の魅力や取り組みについて幅広いPRを行った。</p>	A	<p>各種法令・基準等に基づき公平公正な対応に努めたこと、ならびに、各種広報媒体を通じたPR活動は評価できる。</p> <p>引き続き、平等利用の促進に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価	評価 (S~C)	【山田池公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)	評価 (S~C)			
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)</p> <p>※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来園者数(H29年4月~11月): 749,790人 ・イベントの実施回数と参加者数: 206回、1837人 ○「ヘルシージョイクラブ」に新たに太極拳をメニューに加えた。また、夏休み企画「ダンシング棒人間」の作品をパークセンター前で展示後、実りの里の棚田にて案山子にアレンジして活用した。 ○行楽シーズンには、売店、キッチンカーを営業し、ニーズに沿った飲食物の販売を行った。春季の土・日・祝日にキッチンカーを19日間営業し、秋季の営業は昨年より期間を延長し11月も営業した。 ○樹木の名前を知りたいとのご要望に応え、ボランティア「パークサポーター」と連携して樹名板を約120枚取り付けた。 ○多様な主体との連携を図り準備を進めたが、雨天のため中止となった「山田池公園フェスティバル」は、各主体に呼びかけて他イベント開催時への出展依頼を検討している。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○飲食物の販売や樹名板の取付けにより、公園利用者の利便性を向上することができた。 ○多彩なプログラムを実施し、公園の利用促進につなげることができた。 	A	<p>応募時の提案を満足している。</p> <p>○「飲食物販売」や「樹名板設置」等により来園者の利便向上を図り、また「山田池公園フェスティバル」をはじめとした多彩で魅力的なプログラムの企画により、公園の利用者増に取り組んだ。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。飲食物販売等により来園者の利便向上を図り、また「山田池公園フェスティバル」をはじめとした多彩なプログラムにより、公園の利用者増に取り組んだ点が評価できる。引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	<p>収益事業の実施状況、(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)(※ Aグループのみ、Bグループも実績があれば記載可)</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○臨時売店内(パークセンター)に販売員の補助として、5月初旬にアイスクリーム自販機を設置し、9月に飲料自販機を設置した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○販売品目が大幅に増えたことで、公園利用者の利便性を向上することができた。 	A	<p>応募時の提案を満足している。</p> <p>○パークセンター内臨時売店の販売品目を増やし、公園利用者の利便性を向上させた。</p>	A	<p>パークセンター内の飲食物販売品目を増やし、公園利用者の利便性を向上させた点は評価できる。引き続き、更なる公園の活性化や利用者サービスの向上を図ることを期待する。</p>
	<p>トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。(接遇等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○犬の放し飼いやバイク乗り入れ等のマナー違反は、発見次第、利用指導を行った。 ○花火やバイクによる騒音対策として、大阪府と協議のうえ、7月の第1週目から夏休みまでの土・日曜日及び夏休み期間中は毎日、夜間警備を実施し、併せて自販機照明の消灯及び南駐車場の夜間閉鎖を行った。 ○トラブル発生時には、迅速に現場を確認のうえ苦情主に対応の見通しを返答し、事態の拡大を防いだ。 ○苦情処理簿へ記録するとともに、他公園のトラブルや事故事例も朝礼等を通じて従業員に周知し、未然・再発防止に努めた。 ○東山竹林に隣接している住宅から、竹の落葉についての苦情が寄せられ、速やかに自治会役員と話し合いを行い、境界から10m以内の竹を伐採することで合意し、約300本の竹を伐採した。 ○全従業員を対象とした人権やマナー・接遇研修を実施予定。 ○維持管理に従事する従業員を対象に、機械・器具の取扱いに関する研修を実施予定。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夏季の夜間警備や駐車場の閉鎖等により、トラブルを未然に防止できた。 ○全従業員に事故事例について周知することにより、トラブルを未然に防止できた。 ○東山の竹の伐採については当初計画にはないものの、近隣住民からの強い要望であり予算的にもかなり苦しい中、なんとか要望に応えることができた。 	S	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。</p> <p>○花火やバイクによる騒音対策として、夏季の夜間警備や駐車場の閉鎖等を行い、トラブルを未然防止。</p> <p>○また、苦情対応等の記録とともに他公園の事故事例等の周知、人権やマナー・接遇研修を全従業員を対象に実施するなど高く評価できる。</p>	A	<p>他公園での事故事例の従業員周知や夏季の夜間警備などにより、トラブルを未然に防止されていることは評価できる。引き続き、トラブルの未然防止、適正な対処に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【山田池公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(4) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <p>○草地管理・芝生地管理については、当初の計画以上に除草を実施した。</p> <p>○樹林地管理については、個々の樹木は自然樹形を原則として管理を行った。ただし、支障になる枝は随時剪定した。ヒラドツツジ、サツキ等のツツジ類及び、ユキヤナギ、レンギョウ等は開花後の適期に剪定を行った。</p> <p>○8月末時点で発生が確認されたナラ枯れ5本のうち、来園者や通行車両に危険を及ぼす可能性のある枯木は撤去を行った。9月以降、新たにナラ枯れが発生しており、大阪府と処理について協議中。</p> <p>○10月の台風21号による倒木・傾木が多数発生し、速やかにその対応を行った。</p> <p>○東山地区周辺住民からの強い要望をきっかけに、当初計画外の作業として、約300本の竹を伐採した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○当初計画以上の草地管理、適期の樹木剪定を行ったことにより、美しい景観を保つことができた。</p> <p>○枯損木の適切な処理により、来園者の安全性を保つことができた。</p> <p>○台風21号の被害対応ならびに地域住民要望への対応など、臨機に応じて利用者ならびに地域住民の立場に立った管理ができた。</p>	S	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を上回る管理を実施。かつ応募時の提案以上に実施。</p> <p>○草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について良好な管理を行いつつ、台風21号による倒木等についても、速やかにその処理を行った。</p> <p>○また、園内竹林の隣接住民からの強い要望に対し、当初計画にない約300本の竹の間伐を行うなど、将来的な植物管理、景観等への配慮も併せた対応を行ったことは、非常に高く評価できる。</p>	S	<p>事業実施計画書の提案などに沿った草地管理等が行われている。</p> <p>当初計画にない、園内竹林の間伐など、将来的な植物管理、景観等への配慮も併せた対応を行ったことが高く評価できる。</p> <p>また、樹林地管理、ナラ枯れ対策、台風21号による倒木処理等についても適切に実施されており、評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <p>○園内清掃は、週2回を原則とし、繁忙期は週3回実施した。加えて、障がい者施設に委託し、繁忙期には週2回、閑散期には週1回、清掃を実施した。</p> <p>○便所清掃は、週2回を基本とするが、春の行楽シーズンなど特に利用の多い時期は、臨機応変に回数を増やし実施した。7月～9月は週2回の便所清掃後、塩化ベンザルコニウムによる消毒を実施した。</p> <p>○排水管・側溝清掃は、大雨や台風時に園内はもとより、周辺道路の側溝等も清掃した。</p> <p>○排水設備の保持ならびに局地的豪雨に備えるため、集水樹の泥あげや落葉の除去および清掃を行った。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○園内清掃等の回数を増やしたり、バーベキュー広場のゴミを頻繁に回収したことにより、園内の美観の維持及び来園者の意識啓発に繋げることができた。</p> <p>○園内の維持はもとより、前面道路の冠水を未然に防ぐなど、道路交通の安全にも貢献できた。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。</p> <p>○園内・便所清掃について繁忙期等には臨機に回数を増やした他、バーベキューゴミの回収等、ゴミゼロ公園としての美観維持並びに来園者の意識啓発に繋がる取組みを行ったことなどは高く評価できる。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>園内清掃に関して状況に応じた対応を適正に実施している点が評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					
	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【山田池公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)	<p>【実績】</p> <p>《花しょうぶ園》</p> <p>○ハナショウブの株分けは、当初の計画数量以上の4,268株実施した。</p> <p>○平成26年度に明治神宮より譲り受けたハナショウブ苗は適切な管理を行い、多くの花を咲かすことに成功した。</p> <p>○桜草展、花菖蒲展、朝顔展、古典菊展の伝統園芸展示を行った。1月には椿展を開催予定。</p> <p>○ハナショウブの最盛期に開園時間を延長しライトアップを実施した期間中の来場者は36,405名だった。</p> <p>○城北公園へハナショウブ苗を譲渡するとともに、情報交換を行った。</p> <p>○花菖蒲展開催中の入場者は、過去最高となる60,556人を記録した。</p> <p>《水生花園》</p> <p>○アジサイの良好な生育を目指し、高木の枝透かしや強剪定を行った。</p> <p>《花木園》</p> <p>○梅280本は適期の6月に、ツツジ類770㎡は花後直ちに剪定を行った。</p> <p>○PPV対策として、アブラムシの早期発見に努めた。</p> <p>《クイーンズランド庭園》</p> <p>○除草は年4回美しい美観を保つとともに、壁泉のシダ類に適正に灌水するためタイマー設定を行った。</p> <p>《管理事務所前及び西花壇》</p> <p>○一年草を主体に花苗を選定し、年2回植替えを実施した。</p> <p>《広報・連携の取組み》</p> <p>○大阪府の広報をはじめ、ローカルメディア、京阪電車等に特殊庭園の情報を提供するとともに、テレビや新聞の取材に協力した。</p> <p>○花菖蒲展開催中、毎日定点で写真を撮影し、公園ホームページに開花状況を掲載更新した。</p> <p>○大阪府庁や北河内府民センター、枚方市役所、京阪枚方市駅に花しょうぶの展示を行った。</p> <p>○古典菊展では、枚方市から大懸崖菊等の展示協力を得て、市の花でもあるキクの魅力を発信した。</p> <p>○枚方市市民の森と合同で花しょうぶ園のチラシを作成・配布し、連携してPRを行った。</p> <p>○大阪府立大学の「里環境の会OPU」から依頼を受け、ハナショウブの株分け方法の指導を行った。</p> <p>○枚方市生きがい創造学園から依頼を受け、ハナショウブの系統や性質に関する講義ならびに株分け方法の指導を行った。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○全ての特殊庭園にて適切な管理を行い、見応えのある花景観を多くの府民に楽しんでいただけた。</p> <p>○他公園との連携を図り、ハナショウブの管理に関する情報交換やノウハウの提供を行うことで、当公園のみならず他公園の魅力的な花しょうぶ園創出に寄与した。</p> <p>○学生や地元市民へのハナショウブの管理指導を行うことで、伝統園芸の継承に寄与した。</p>	S	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案以上を実施。</p> <p>○特殊庭園全般について良好で適切な管理を行い、季節毎の魅力的な花景観等を多くの府民に提供したことは、非常に高く評価できる。</p> <p>○また、ハナショウブの管理に関する情報交換や苗交換等により、一公園に留まらない将来的な伝統園芸植物の保全・育成に貢献した。</p>	S	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>特殊庭園という専門的知識や技術が必要な管理が求められる中、適正に取り組まれており、季節毎の魅力的な花景観等を多くの府民に提供したことが高く評価できる。</p> <p>ハナショウブの管理に関する情報交換や苗交換等により、伝統園芸植物の保全・育成に貢献した点も評価できる。</p> <p>引き続き、専門的技術を活かした維持管理への取り組みを継続され、古典園芸の担い手づくりにも取り組まれない。</p>
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【山田池公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○春日山の本来植生復元のため、「シニア自然大学校森林文化科」と協働で、ハチクの間伐や下草刈りを実施した。 ○住友ゴム㈱から地域産の樹木苗の寄贈を受けた。移植できるまで育成し、アラカン春日山に、クスギを東山に植栽予定。 ○「枚方バードフォト倶楽部」より、春日山でオオタカのメスが1羽巣立ち、また、当園で生まれ育ったオスが営巣しているとの情報がもたらされた。 ○炭焼き場で生産した炭で水質浄化を行い、「竹取物語の会」と協働で奥山田川のホテルの生育環境保全に努めた。 ○枚方市ならびに「枚方生きもの調査会」と連携し、昆虫教室やラフト教室を開催した。 ○「おおさか生物多様性普及啓発キャンペーン」に参加し、大阪府内の生物多様性関連施設として情報提供を行った。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○春日山での照葉樹林など自然環境の保全に努め、オオタカの営巣やヒナの巣立ちを確認することができた。 ○昆虫観察会などの実施により、自然環境学習の機会創出や山田池公園の自然環境のPRを行うことができた。 ○ボランティアと協働で水質浄化に取り組んだことで、ホテルの繁殖に必要なカワニナが多く生息していることが確認できた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。</p> <p>○春日山潜在植生復元のため間伐や下草刈りを実施、またホテルの生育環境保全のため、炭焼き場で生産した炭で奥山田川の水質浄化を行うなど、自然環境の維持創出に努めた。</p> <p>○枚方市等と連携し、「昆虫観察会」等の自然環境学習会を開催した。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>ボランティア団体との協働を継続実施している点や、竹炭を使った取り組みなどが評価でき、今後のさらなる成果が期待できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常巡視を通じて、異常箇所や危険箇所を早期に発見し、その処置を行った。 ○遊具やハートフルゲート等について、日常点検や定期点検、精密点検を実施した。 ○遊具精密点検において、JPFAの規準に基づきC判定の指摘を受けた構造ハザードについては、緊急を要する内容のため、指定管理者にて修繕を発注した。(①ジャングルジムのジョイント金具 ②ネット渡りのネット ③すべり台スタートゲートの鋼管・丸棒取付け ④健康遊具の腹筋台足掛けバー取付け ⑤ハートフルゲートのフレーム備品) ○月1回、夜間パトロールを行い、防犯に努めた。 ○照明灯は、日の出・日の入時刻に応じてタイマー調整するほか、不点灯箇所を調査し速やかに交換・修繕を行った。 ○夏季の防犯対策として、大阪府と協議のうえ、夜間巡回や駐車場の夜間閉鎖を行った。 ○倒木や危険木について、大阪府と協議のうえ、特に園路や道路、住宅地に面した樹木を優先して伐採処分した。 ○倒木被害を防止することを目的として、樹木医を招き、従業員を対象とした危険木の見分け方の研修を実施した。 ○トイレに手洗い消毒液を設置し、夏季にはO-157対策で消毒を実施した。また、親水施設の清掃と消毒液の注入を行った。 ○スズメバチが発生しそうな箇所にトラップを設置するほか、苦情を受けた際には立入禁止措置を施して捕獲・駆除作業を行った。 ○川原広場でのスケートボードの使用は禁止行為であり、他の来園者や近隣住民の迷惑となるため、スケートボードの使用をやめるように指導を行うとともに、警察によるパトロールルートに加えてもらった。また、ジャンプに使用されている石製ベンチにステンレス製の手すりを設置した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遊具等を適切に点検し、事故を未然に防ぐことができた。 ○遊具の構造ハザードの修繕を速やかに行うことで、さらに安全性を高めることができた。 ○照明灯を適切に点検・補修し、利用者が安心・安全に過ごせる環境を整えた。 ○危険木を適切に伐採し、倒木による事故を未然に防ぐことができた。 ○親水施設を適切に清掃・消毒し、子ども達が安心して水遊びができる場を整えた。 ○スズメバチへの適切な措置により、利用者の安全を確保できた。 ○危険な利用に対して指導だけでなく、警察への依頼やハード整備を行うことにより、他の来園者や地域住民の安全を確保することができた。 	S	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を上回る管理を実施。</p> <p>○園内施設の日常巡視・点検等により危険箇所等の早期発見に努め、構造ハザードに起因するものについても速やかに処置を行うなど、利用者の安全確保に努めたことは、非常に高く評価できる。</p> <p>○また、防犯対策として、園内の夜間巡回や駐車場の夜間閉鎖を行った他、警察等とも連携を図りながら園内危険行為の利用指導を行った。</p> <p>○さらに、事故の未然防止の観点から、従業員を対象とした樹木点検講習会を実施、危険木については園路等に面したものを優先して伐採処分を行うなど、早期対応を行った。</p>	S	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>日常巡視により危険箇所等の早期発見に努め、構造ハザードに起因するものについても速やかに処置を行うなど、利用者の安全確保に努めたことは高く評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【山田池公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	<p>【実績】</p> <p>○大雨警報や暴風警報の発表時に、速やかに非常時体制を配備し、園内の安全確認や利用制限措置をとるなど、非常時の対応を適切に行った。特に、暴風警報発表時は、夜間であっても、駐車場や公園の出入口全てに利用禁止看板を掲出し、来園者への周知と安全確保を行い、人的被害は無かった。(大雨洪水:9回の内、暴風:3回含む)</p> <p>○9月に大阪府と合同で地震災害対策訓練を実施し、公園の出入口バリカーの点検や非常用発電装置の稼働確認のほか、非常用トイレや生活用水の取水確認などの点検整備を行った。1月・3月にも災害対策訓練を実施予定。</p> <p>○大阪大学が開発した豪雨検知アラームによる雷情報の試験運用に協力した。雷情報の入手に伴い、園内放送等で利用者に危険を知らせ、安全な場所へ避難誘導した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○非常時体制の確立や、職員の日頃の心構えにより、警報発表時は迅速かつ的確に対応できた。</p> <p>○地震災害対策訓練により、指定管理者が行うべき対応を改めて把握し、身に付けることができた。</p> <p>○豪雨検知アラームの試験運用では、来園者への適切な避難誘導ができ、今後の運用に向けて貢献できた。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。</p> <p>○警報発令時、速やかに非常時体制を配備、園内の安全確認や利用制限措置をとるなど、非常時の対応を適切に行った。また、府と合同で地震災害対策訓練を実施、非常用発電装置の稼働確認、防災井戸等の点検整備を行った。</p> <p>○フェーズドアレイレーダーシステムの実証実験に協力し、園内放送で利用者に雷情報等を告知・避難誘導も行った。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。警報発表時における利用者の安全確保に向けた迅速かつ的確な取り組みや、大学の開発した新技術へ積極的に協力する姿勢は評価できる。</p> <p>引き続き、危機管理体制の維持・充実に努力されたい。</p>
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <p>○「こころの再生」府民運動のオフィシャルサポーターとして登録し、ホームページやパンフレットへのロゴマークの掲載を通じて、協力企業であることをPRした。</p> <p>○「みどりの風を感じる大都市・大阪」として、夏季にはパークセンター及び管理事務所にゴーヤのみどりのカーテンを設置した。</p> <p>○「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」で藤坂小学校の児童により植え付けられた円形花壇の花苗を適切に管理した。</p> <p>○大阪府と大阪生物多様性保全ネットワークが主催となり実施する「おおさか生物多様性普及啓発キャンペーン」に参加し、公園情報や自然環境系イベントの情報などを提供するとともに、大阪府内や山田池公園内の自然に関するパネル展示をパークセンター内で行った。</p> <p>○「男女いきいき・元気宣言」の申請を行い、登録事業者となった。</p> <p>○「大阪府障がい者サポートカンパニー」の申請を行い、優良企業として登録された。</p> <p>○大阪万博誘致活動に全面的に協力し、公園ホームページへの万博誘致ページのバナー掲載、万博誘致Facebookページへの「いいね！」を通じた連携、万博誘致ロゴマークをモチーフとした花壇づくり(ボランティア「花のくらぶ」と検討中)、公園だよりへの万博誘致ロゴマーク掲載(12月発行予定)を行った。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○各種取組を行い、大阪府の政策に協力した。</p> <p>○府が推進する大阪万博誘致活動に積極的に協力し、機運の高まりに貢献した。</p>	S	<p>応募時の提案以上を実施。</p> <p>○「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」・「おおさか生物多様性普及啓発キャンペーン」等と連携・参加する等、府政策との整合を図り、協力を行った。</p> <p>○府が推進する「大阪万博誘致活動」に全面的に協力し、公園ホームページへのバナー掲載、万博誘致Facebookページでの「いいね！」登録、万博誘致ロゴマークをモチーフとした花壇づくり(ボランティア「花のくらぶ」と協働)を実施、万博招致機運の高まりに貢献したことは非常に高く評価できる。</p>	S	<p>「大阪万博誘致活動」に協力し、万博誘致ロゴマークをモチーフとした花壇つくったことなどが高く評価できる。その他の府の施策に適切に協力していることも評価できる。</p> <p>引き続き、良好な管理運営に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【山田池公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。 これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】</p> <p>○大阪府が実施した利用者アンケート調査において、全般的な満足度は1.5点であった。</p> <p>○植物管理や施設管理については概ね満足の評価が得られたが、駐車場料金やサービス施設、イベントの種類や数、広報といったサービス面に対しては不満の割合が比較的高かった。</p> <p>○自由意見としては、犬のフンやゴミの持ち帰りのマナーが悪いといった苦情や、子どもから大人まで楽しめるイベントを実施してほしいといったご要望などが寄せられた。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○巡視時には、枯れ木や枯れ枝の早期発見に努め、発見した際にはその位置や状況を速やかに検討し、対応するとともに、HPや掲示板などを活用し、風致公園(原生林)について広く広報する。</p> <p>○サービス施設の充実については、臨時売店やキッチンカーの販売日数や取扱いメニューの再検討に加え、花の見頃に合わせて野点を行うなど、場の特性や風情を活かした設えでの飲食販売の実施を検討する。</p> <p>○イベントの種類や数の充実については、これまでイベントに参加したことのない利用者にも興味を持ってもらえるような幅広い内容のイベント(生きものや風景の写真展、マルシェ、実りの里や川原広場を活用したイベントなど)を検討する。</p> <p>○掲示板に加え、園内放送、「広報ひらかた(枚方市、毎月発行)」への掲載依頼、地元メディアとのさらなる連携強化など、利用者が公園内外で情報を得られる手段を増やす。</p> <p>○駐車場料金の適正化については、短時間利用者に考慮した駐車場の新料金体制を導入予定。</p>	A	総合的評価は1.5であった。	A	総合的な満足度は良好であり、今後の対応策も考えている等、適切に運営されていると考えられる。引き続き、良好な維持管理・運営管理に努められたい。
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取組みを行ったか。	<p>【実績】</p> <p>○犬の放し飼いやフンの放置、猫の餌やりで発生したゴミ放置について、園内放送で注意喚起を行うとともに、業務時間外の早朝や夕方に犬の放し飼いが多岐の芝生の丘や芝生広場と猫の餌の食べ残しがある場所に、マナーアップを啓発する看板を新たに設置した。</p> <p>○猫の繁殖を防ぐため、ボランティアと協働で猫を捕獲し、(公財)どうぶつ基金の協力を得て、7匹の猫の不妊手術を実施した。</p> <p>○北地区において、水辺売店を4~6月、9~11月の土・日・祝日営業した。また、テラス広場でキッチンカーを出店し、これまで秋期営業は9月と10月であったが、今年度は11月も土・日・祝日に営業を行った。2月の梅の見ごろに合わせて、梅林内にてキッチンカーを営業する予定。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○犬や猫に関連する大きなトラブルを未然防止することができた。</p> <p>○北地区ならびに南地区において飲食販売を行うことにより、利便性を向上できた。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。</p> <p>○犬の放し飼いや猫の餌やり行為等について園内放送での注意喚起、マナーアップの啓発看板の設置、猫の繁殖を防ぐためボランティアと協働で猫を捕獲し、(公財)どうぶつ基金の協力により実施される猫の不妊手術など、犬や猫に関するトラブルを未然に防止した。</p> <p>○また、水辺広場売店を繁忙期の土・日・祝日に、またテラス広場でキッチンカーの出店については期間を延長して飲食販売を行うことにより、来園者の利便性を向上を図った。</p>	A	

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価	評価 (S~C)	【山田池公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)	評価 (S~C)			
(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】 ○川原広場の新規開設に伴いパンフレットを刷新し、配布するとともに、公園だよりやエフエムひらかたの番組にて川原広場についてPRを行った。 ○川原広場オープニング式典の運営に協力するとともに、祇園枝垂桜の管理に携わった植藤造園の佐野藤右衛門氏を講師に招き、公園ボランティアなどを対象に講演会を同日開催した。 ○枚方市主催の「枚方市緑化フェスティバル」に、健康づくりブースや公園ボランティアのブースを出展するとともに、公園のPRを行った。 ○枚方市ならびにNPOひらかた子ども食堂ファンクラブと連携し、枚方市内で「子ども食堂」に取り組む15団体に、実りの里で収穫できた農作物(大根、玉ねぎ、ジャガイモ、サツマイモ、サトイモ)を寄贈した。 ○トヨタ自動車㈱ならびに㈱産経新聞と連携して「AQUA SOCIAL FES!!」を開催し、園内に繁茂する外来植物セイバンモロコシの掘取ならびに玉ネギの収穫体験を実施した。 ○ひらコン実行委員会と連携して婚活イベント「ひらコンBBQ大会」を開催した。 ○パークセンター内にて、ボランティア「花のくらぶ」と連携して、「花のくらぶ手作り作品展」を実施した。 ○樹木の名前を知りたいとのご要望をに応え、ボランティア「パークサポーター」と連携してQRコード付きの樹名板を約120枚取り付け付けた。 ○山田池の水質改善ならびに生態系の保全を目的として、6年ぶりとなる池干しを実施した。実施に際し、大阪府、枚方市、山田池土地改良区、ボランティア「枚方いきいもの調査会」との協議を行った。また、池干しの様子はテレビ東京の番組「緊急SOS！池の水ぜんぶ抜く大作戦」内で全国放送された。 ○実りの里で育成してきたハス苗が移植できる大きさに成長したので、池干し終了後に山田池に設置したプランターへの移植を予定している。</p> <p>【自己評価】 ○新規開設された川原広場について広くPRを行い、新たな憩いの空間として多くの来園者に認知・利用されている。 ○枚方市との多角的な連携により、地域に根差した公園づくりを展開することができた。 ○企業や地域の団体と連携した新たなイベントの開催により、若い世代の方の来園を呼び込むことができた。 ○池干しの実施により、水質改善と生態系の保全に寄与できた。また、テレビやネットニュースなどで取り上げられたことにより、公園の認知度向上にもつなげられた。</p>	S	○川原広場オープニング式典への協力、「子ども食堂」への実りの里収穫作物の寄附、生態系の保全等を目的とした『池干し』等、新たな憩いの空間として公園の認知度を向上させるために様々な取り組みを行い、来園者増にも繋がったことは、非常に高く評価できる。	S	「子ども食堂」への収穫物の寄附、生態系の保全等を目的とした『池干し』等、様々な取り組みを行い、来園者増に繋がったことは、高く評価できる。 今後とも、積極的な取り組みを期待する。
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	<p>【実績】 ○収支は、ほぼ予定どおりである。</p> <p>【自己評価】 ○引き続き、管理水準を維持しながら経費節減に努めることで、概ね、当初の計画どおりの収支に収まる見込みである。</p>	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て満足する。	A	ほぼ計画的な予算執行である。引き続き、適切な収支バランスの維持に努められたい。
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	<p>【実績】 ○常時配置すべき従業員を配置し、当初の計画に則った管理体制を整えた。また、春・秋のバーベキューなど繁忙期は、提案以上に要員を配置し、万全の体制で臨んだ。 ○巡視点検は、通常2名1班の2班体制とし、GWやイベント開催時は、巡視員や警備員を増員し、園内や周辺道路でのトラブルや事故の未然防止に努めた。</p> <p>【自己評価】 ○事故防止の観点から、適正な増員体制を構築することができた。</p>	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て満足する。	A	—
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	<p>【実績】 ○一級造園施工管理技士、公園管理運営士、危険物取扱者乙種4類、甲種防火管理者など、計画書どおりの有資格者を配置した。</p>	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て満足する。	A	—

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【山田池公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	労働災害等未然防止のための管理運営。 (外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	【実績】 ○他自治体ならびに府営公園内で発生した事故やヒヤリ・ハット事例を参考にし、日々の朝礼等を通じて従業員に注意喚起を行っている。 ○機械・器具を使用する場合、労働安全衛生法で資格所持が、義務付けられているチェーンソーについて、。嘱託2名に使用者負担で資格取得させた。 ○維持管理に従事する従業員を対象に、機械・器具の取扱いに関する安全教育・訓練を実施予定。 【自己評価】 ○労働災害未然防止のための適切な管理運営により、労働災害は発生しなかった。	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て満足する。	A	労働災害管理上の問題が発生しておらず、今後も労働災害等が発生させることなく管理運営に努められたい。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無いか。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	【実績】 ○経営状況に大きな変化がなく、指定管理業務の収支も概ね予定どおりであった。 【自己評価】 ○概ね良好に推移できている。	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て満足する。	A	財政状態はおおむね良好であるが、直近に営業キャッシュフローがマイナスであった構成団体がある。